

新たに開発した碎石位用検査パンツの 有用性に関する調査

たに	ぐち	ま	き	かな	さき	はる	ひこ	おか	だ	ひろ	え
谷	口	真	紀 ¹⁾	金	崎	春	彦 ¹⁾	岡	田	裕	枝 ¹⁾
おり	で	あ	き	こ	ばやし	ゆう	すけ	なか	じま	ひろ	ちか
折	出	亜	希 ¹⁾	小	林	祐	介 ²⁾	中	島	宏	親 ²⁾
こ	いけ	ち	あき	つぼ	い	いち	ろう	なが	み	た	いち
小	池	千	明 ²⁾	坪	井	一	朗 ²⁾	永	見	太	一 ²⁾
お	がわ	こう	へい	わ	だ	こういちろう	耕一郎 ²⁾	なか	むら	もり	ひこ
小	川	貢	平 ²⁾	和	田	耕	一郎 ²⁾	中	村	守	彦 ³⁾
ふく	い	けい	こ	つね	まつ	のぶ	ゆき	いい	つか	ひろ	み
福	井	圭	子 ⁴⁾	常	松	伸	行 ⁴⁾	飯	塚	裕	美 ⁴⁾
いの	うえ	み	か								
井	上	美	香 ⁴⁾								

キーワード：検査パンツ，碎石位，羞恥心

要 旨

本研究は、新たに開発した碎石位用検査パンツ（以下、碎石位用検査パンツ）が、産科婦人科および泌尿器科の検査や処置を受ける患者と実施する医療従事者にとって有用であるか明らかにすることを目的に、無記名自記式質問紙による調査を実施した。有効回答者患者122名、医療従事者43名を分析対象とし、単純集計を行った。患者からはデザイン、サイズ、丈の長さに関して肯定的に捉えた割合は高く、否定的な評価は少数であった。また、以前に使用していた大腸カメラ用の検査着との比較では、半数以上のひとが碎石位用検査パンツを肯定的に捉えていた。しかし一方で、「前後がわかりにくい」「開放感が強い」との意見もあり、デザインを再検討する余地があると考えられる。患者の羞恥心に関しては、碎石位用検査パンツで露出時間を短縮することで、羞恥心の軽減につながっていた。医療従事者からも碎石位用検査パンツに対する否定的な評価は少数であった。しかし、「スリットを巻き付けにくい」という意見もあり、4枚のパーツの使用の工夫を検討することも必要であると考えられる。今回、碎石位用検査パンツで患者の羞恥心の軽減につながることを示唆された。

Maki TANIGUCHI et al.

- 1) 島根大学医学部 産科婦人科講座
 - 2) 島根大学医学部 泌尿器科学講座
 - 3) 島根大学 地域医学共同研究部門
 - 4) 島根大学医学部附属病院 看護部
- 連絡先：〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1
島根大学医学部産科婦人科講座

I. はじめに

産科婦人科や泌尿器科疾患において外陰部を露出させる検査や処置が必要となるが、このような場面では患者は羞恥心を感じている。瀬川¹⁾らは、